

担任 石川 俊昭

「あおば4組」は、3年生3名、4年生1名、5年生2名の計6名の学級です。毎日がにぎやかで、楽しく元気に過ごしている子どもたちですが、トラブルも日常茶飯事。学級目標の「仲良く 協力 人を思いやる 楽しいクラス」に向けてみんなで奮闘中です。学びの早さはそれぞれ、お互いが考えの違いを認め合い、ゆっくりとでも確実に成長をしていっています。

1学期の反省をもとに、2学期も、一緒に様々の活動に取り組んでいきたいと思ひます。

学級経営反省

1学期の振り返り

学習面

- 学習の決まりの1つである時間を守ることを意識させるようにした。しかし、始業時になっても、教科書やノート、筆記用具などの準備をしていなかったり、遊びや私語に夢中になって授業に遅れたりすることがあった。時計を見て過ごせるように2学期は工夫していきたいです。学習準備については、忘れ物が多かったです。特に、鉛筆や消しゴムなどの筆記用具、三角定規、分度器、体育服が多かったです。
- 学習を始める際に、授業の流れやゴールを示すことで、見通しをもって取り組むことができた。この時間で何を学んだのかが分かって達成できたときは、お楽しみタイムを設けて無理なく楽しく活動できた。さらに、自分の学びを実感できるしくみを作りたい。また、めあてに対する振り返りができるようにしたい。
- 「書くこと」に対する抵抗がある児童が多いので、意欲を高められるようにしたい。
- 交流学級における学習については、交流担任と情報交換を行いながら、必要に応じて、課題をあおばに持ち帰って活動したり、交流学級で励ましながら、支援を行ったりしている。
- 宿題への取り組みについては、保護者の方の協力を頂いたこともあり、国語と算数のプリント類はに取り組むことができている。(67%) 毎週火曜日の「家族読書」や「音読」が、徹底されなかったため、2学期は、読書と音読への取り組みへの意欲を高めていきたい。
- 生活単元学習では、季節を感じる活動や野菜を育てたりする活動を通して、友達と一緒に活動する楽しさを学ぶきっかけができた。

2学期は、運動会や宿泊学習(5年生)、持久走大会などさまざまな行事が予定されています。これらの行事の事前準備や学習・自立活動を通して、学習意欲を持続・向上させ、集中力やできたときの達成感を味わわせたいと考えています。

生活面:

- 朝のあいさつや帰りのあいさつ、名前を呼ばれたときの返事がなかなか返せない児童が多かった。あいさつはコミュニケーションや仲良くなるための第一歩だということを理解させ、2学期でも継続して指導していきたい。
- ハンカチやちり紙、ネームなどのハチツボネブについては、できている児童とできていない児童の差が大きかった。家庭と連携を図っていきたい。
- 児童が落ち着ける教室を心がけ、必要に応じてリラックスできる場所を作ることができた。これからも、落ち着いて学校生活を送れるように環境を整えながら、目標や希望をもって、学習や仲間との交流ができるように支えていきたい。

保護者の方々の御協力に感謝しております。2学期もどうぞよろしくお祈りします。